

令和6年3月

どこからか水仙やジンチョウゲの甘い香りが流れてきます。冬眠から覚めたばかりなのか寝ぼけまなこのカエルもいました。校庭で遊んでいたジョウビタキやツグミもそろそろ北帰行でしょうか。今年は一ヶ月早く春が訪れているように感じます。

○ 巣立ちのとき、わかれのとき

3月1日に卒業式を挙行し、全日制115名、定時制14名が学び舎から巣立ちました。総代の尾崎海乃さんへの卒業証書授与に始まり、校長式辞、県議会からの祝辞、在校生代表の井上怜美さんによる送辞、卒業生代表の岩村夢叶さんによる答辞、そして最初で最後の校歌合唱。卒業生退場のBGMは卒業生が選んだUruのRemember。「さよ～ならじゃない～♪」という歌詞に目頭が熱くなりました。

クラスでの第二部や部活動・同好会でのお別れ会では、笑い声や涙があふれていました。宇部中央高校新聞に載せられた卒業生一人ひとりのメッセージには感謝の言葉が綴られています。「中央ライフ最高」「宇部中央に来てよかった」と書いた生徒もいます。



○ 最後の学年会

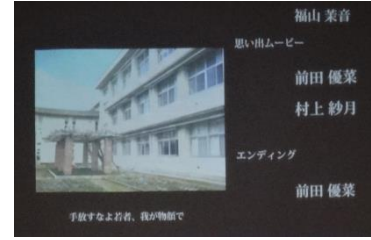
卒業式に先立ち、2月21日に3年次生にとって最後の学年会がありました。ダンス同好会3年次生によるパフォーマンス、思い出ムービーの鑑賞、そして学年主任からのお話。ダンス同好会はコロナ禍で活動が制限されていた鬱憤を晴らす見事な演技でした。思い出ムービーは30分にわたる力作で、3人の有志※が作成してくれました。会場は大変盛り上がり、爆笑や歓声に包まれました。エンドロールで生徒全員の名前が流れていくシーンは胸アツでした。



その後、3年次生たちはお世話になった教室をワックスがけして帰路につきました。

※3人が家庭学習中も校舎中を回って撮影している姿をしばしば見かけました。どうもありがとう。





○ 学校運営協議会委員からの評価

2月21日に学校運営協議会が行われ、本年度の本校の取組について評価を受けました。委員からは概ね高評価をいただきました。昨年度の御意見を受けて、本校の取組を発信することに力を入れてきたこと（学校ホームページの充実。宇部日報や山口新聞で9回掲載、TVでは3回放映していただいた。）や、生徒たちが学校内外で活躍する姿が高評価につながったと思っています。

今年度は、委員から次のような意見がありましたので、共有しておきたいと思います。

- ・挨拶は大きな声で相手より先にできるとよい。社会に出たときにとっても重要になる。
(PTAの挨拶運動に参加されたPTA顧問から)
- ・大学では宇部中央高校の出身者はとても気持ちのよい挨拶をしてくれる。大人が見本を見せ続けることが大切。(近隣の大学教員から)
- ・中学校では人権に配慮して校則の全面見直しを実施している。多様性を認めるなど学校から地域社会を変える動きも大事なのではないか。(近隣の中学校校長)
- ・PTA総会への出席率を高めるためには、保護者への情報をどうやって届けるかが課題。紙だけだとカバンの底でグチャグチャになって保護者に届かない。(複数の委員)
- ・高齢者スマホ教室にボランティアで来てくれた。宇部中央高校の生徒はよくやっている。(近隣の公民館館長)
- ・他校に比べて校内がきれいに整備されている。特に花壇がすばらしい。整備してくれている先生や生徒にそう伝えてほしい。(劇団座長)

委員のみなさま、ありがとうございました。

○ 校庭紹介（3月）



ツグミとジョウビタキが止まっているかわかりますか。どこにいるかわかりますか。



甘い香りのジンチョウゲ。校庭のどこにあるかわかりますか。

ツグミもジョウビタキも冬鳥です。暖かくなると日本海を渡ってシベリアへ帰っていきます。そして、秋が深まるころ、日本に戻ってきます。ジョウビタキが飛ぶ姿はとってもきれいですよ。気にして見ていると、宇部中央高校には思ったよりたくさんの種類の鳥がいます。